

INFORMATION

■附属博物館／附属ギャラリー「アートスペース嵯峨」スケジュール

<附属博物館>

- ・『京都嵯峨芸術大学所蔵・浅見素石コレクション 郷土玩具と版画・版書展』
2008年4月1日(火)～5月31日(土) 10:00～17:00

休館日＝日曜、および4月27日～5月6日

本学には2006年に急逝された浅見素石氏からご寄贈いただいた多くの郷土玩具と昨年ご遺族の方からご寄贈いただいた氏の版画・版書が多く収蔵されています。今回の企画展では郷土玩具を中心に版画・版書を展示します。

<附属ギャラリー>

- ・『ニコラ・ド・クレシー展覧会』

2008年4月16日(水)～25日(金) 10:00～18:00 休館日＝会期中無休

フランス人B D(ペーデー／バンド・デシネ=フランス語圏のマンガ)作家ニコラ・ド・クレシー氏が滞在中に描いたスケッチやドローイングを中心に展示します。

○お問い合わせは博物館・ギャラリー課まで

TEL.075-864-7898 FAX.075-882-7770 museum@kyoto-saga.ac.jp

■平成20年度生涯学習講座受講生募集中！

今年で6年目を迎える「生涯学習講座」は、日本画や洋画等のものづくり講座を中心に、外国語会話や各種文化講座、そして子供講座まで幅広い内容で全58講座をご用意しています。今年度の新講座として、京都嵯峨野文化サロン第6回企画「音で奏でる源氏物語」(平成19年9月29日大覚寺にて開催)でご講演いただきました福嶋昭治先生の「源氏物語の言葉と心」や、実際に現地を訪ねる「京の文化散策」、「美術館巡り」等を開講致します。講座の詳細は本学HP(下記参照)をご覧ください。(ご希望の方には、パンフレットを無料でお送り致します)

※お申込受付中。受付は先着順で、定員になり次第締切させていただきますのでご了承ください。

【講座詳細】 URL:<http://www.kyoto-saga.ac.jp> をご覧ください。

【パンフレット請求・お問合せ先】

〒616-8362 京都市右京区嵯峨五島町1番地 京都嵯峨芸術大学 文化事業部内「生涯学習講座係」まで

TEL:075-864-7898 FAX:075-882-7770 E-mail:bunka@kyoto-saga.ac.jp

■平成20年度あらし山びこ情報

『共に学び、共に育つ』を目標に、毎月第2土曜日に開催している「あらし山びこ」の活動を開始して4年目を迎えました。大学が立地する嵯峨・嵯峨野の歴史や文化、伝承されている様々な事柄等を学び、年間及び月々のテーマとしています。昨年から地域への聞き取り調査も開始しており、88歳のおばあさまのお話を伺ったり、300年も続いている茅葺屋根のお家や、現役で活躍している七つ竈のある家を訪ねたり。最近では牛祭りについて長く牛方さんで活躍してこられた方にお話を伺いました。嵯峨狂言堂にも行き、江戸期の古い狂言衣装を見せていただいたり、子ども達の練習風景を見学しました。今年も学生や読み語りのボランティアさん達と一緒に、地域に聞き取り調査に出かける予定です。今年は初めての試みとして、4月にも「あらし山びこ」を開催します。学生主体の、学生ボランティア研修も兼ねた取組みです。そしてもう一つ、児童館の子ども達の作品を、図書館入り口にある展示ケースにて展示しました。子ども達のうれしそうな、ちょっと晴れがましい表情が印象的でした。児童館の子ども達や、地域の様々な方々に利用していただき、たくさんの出会いがありました。今年も「あらし山びこ」を通して、楽しいひと時が過せる、素敵なお出会いの場を提供できることを願っています。

■本学関係者による展覧会情報

- 『起展(kiten)一開眼一』 2008年3月26日(水)～4月6日(日)

9:00～17:00(拝観受付は16:30まで) 場所／旧嵯峨御所 大覚寺 入場料／大人500円、小中高生300円
学生達の手による自主展。今年は平安京から千年以上の歴史と伝統がある大覚寺を舞台として開催します。伝統と現代のアートが融けあう新しい展覧会をご覧ください。

- 『Thinking Print vol.2』 2008年4月11日(金)～5月11日(日)

10:00～20:00 場所／京都芸術センター 入場無料

本学の版画研究室が企画する“Thinking Print”展。第2回目を迎える本展は記録としての写真ではなく、現代における芸術表現としての写真をテーマに京都芸術センターで開催いたします。

■京都嵯峨芸術大学公式サイトのご案内

「KSUA ART PROJECT」展開中!

京都嵯峨芸術大学公式サイトにて

最新の大学情報をご覧くださいませ。

<PC> <http://www.kyoto-saga.ac.jp>

こちらのQRコードを使って、
携帯サイトにアクセスする
ことも出来ます。



京都嵯峨芸術大学広報

第 24 号
2008年4月1日発行

編集●京都嵯峨芸術大学 総務課 広報室

発行●学校法人大覚寺学園京都嵯峨芸術大学

〒616-8362 京都市右京区嵯峨五島町1番地

TEL.075-864-7859

FAX.075-881-7133

info@kyoto-saga.ac.jp

京都嵯峨 芸術大学 広報

KYOTO SAGA

UNIVERSITY OF ARTS

PUBLIC RELATIONS

VOL.24

APRIL 2008

Contribution

「有響館」に学ぶ

大覚寺学園 理事長 黒髪寛延

新入生諸君に願うこと

京都嵯峨芸術大学 学長 三好郁朗



News

大学報告

第36回制作展を開催／2008年度運営体制／教員人事／職員人事／名誉教授の称号授与／新任教職員紹介／2008年度入試結果報告／2007年(平成19年)度卒業式



Topics

教員・在学生の活躍

高大連携授業を実施／藤川教授が執筆された小説が刊行／日野田准教授が出品された展覧会のカタログが出版／林教授が京都府文化賞功労賞を受賞／金澤麻由子さんがデジタルスタジアムに出演／第3回車座シンポ報告

博物館・ギャラリー報告



Information

附属博物館／附属ギャラリー

展覧会スケジュール

大学行事予定

連続公開講座「京の美意識」

生涯学習講座

あらし山びこ情報

公式サイトのご案内 ほか





●大覚寺学園 理事長 黒髪寛延
「有響館」に学ぶ

昨年11月、真言宗大覚寺派宗務総長・大覚寺執行長に就任したのを受け、大覚寺学園の理事長に選任されました。本学園に関係する大勢の皆様のご指導とご協力を得てその重責を果たしたいと念じております。

2004年、新たに釋原キャンパスの学舎が建設され、三好学長によって「有響館」と名付けられました。「弘法大師」空海の御著書「声字実相義」にある偈文から二字をいただいたとのことです。弘法大師の世界観的一面を端的に表しているといわれる有名な偈文です。

五大皆有響 十界具言語
(五大にみな響き有り 十界に言語を具す)

六塵悉文字 法身是実相
(六塵ことごとく文字なり 法身はこれ実相なり)

この世界を構成する「地・水・火・風・空」の「五大」には、すべてに「響き」がある。「十界」とは仏教で説く「地獄・餓鬼・畜生・修羅・人・天・聲聞・縁覚・菩薩・仏」の十に分けられた精神世界のことで、いがみ、憎しみ、怒り、貪りなどといった状況から、悟りの世界までをいい、それぞれに「言語」があり、また感覚対象である「色・声・香・味・觸・法(意識)」の「六塵」は、すべてがそのまま「文字」であると言う。

五大、十界、六塵とはこの世界のことであり、響き、言語、文字はすべて我々に真理を伝えようとするメッセージであると捉え、空海はこれを総じて「声字」と言っています。

その上で、真理の姿を表す「法身」は、私たちにメッセージすなわち「声字」によって真理を示しており、それは取りも直さず「実相」つまりはその時々の有りのままの姿である、と言うのです。一瞬一瞬の今こそが真理であると言うのです。

このことは、芸術を学ぶものにとってすばらしい示唆を含んだ世界観だと言えましょう。絵画であれば描く対象からの、陶芸であれば土や炎からの、加えて制作者自身の喜びや悲しみなど内なるものからのメッセージを受けて真理の姿を心に描き、その真理を制作者がそれぞれの理解で培養し昇華して作品の中に写し取る。そして完成した作品からは制作者の新たなメッセージが発信される。これらのメッセージが共鳴し響き合うとき、すばらしい作品が完成するのではないかでしょうか。

この「有響館」で、1200年の歴史に培われた古都の響きと、日本を代表する景勝地、嵯峨嵐山の風景の響きと、そして学生諸君の発する個性豊かな新しい響きを大いに共鳴させてください。

「嵯峨芸」へようこそ！ 新しい仲間を心から歓迎します。

本学では入学式と卒業式に「般若心経」を唱えます。本学が大覚寺学園の運営する大学であることに、あらためて思い及ぶ諸君も少なくないでしょう。真言宗大本山大覚寺は心経のお寺としても知られているのです。心経といえば「色即是空・空即是色」くらいは、これまでにもどこかで耳にしたことがあるでしょう。この世のすべては「空」だなどとと言われると、なにやらニヒリズムに陥りかねませんが、心経の説く「空」とは「宇宙生命」のことだという解釈を、それこそ山ほどもある解説書のひとつで読んだことがあります。宇宙はその発生において一つの点のような状態にあった、それが何千億光年の広さにまで拡大し、いまなお拡大を続けている、これがいわゆる「ビッグバン説」ですね。そして宇宙は、一つの点であったときも、無限に拡大しつつある今も、その全体的エネルギーが変わらないのだそうです。これを敷衍して、この世でなにかが終わっても、そのエネルギーは消滅することなく、必ずなか別の生命を支える力として働いていく、そのように考えるなら、「空」のニヒリズムは乗り越えられるかもしれません。「空」とはそうした宇宙の根本原理をいうのであり、それこそが真言密教における法身仏・大日如来だということになるのでしょうか。本学は芸術大学として、とくに宗教教育を前面に出すことはありませんが、諸君は、偶然にせよ大覚寺学園の学生になることを選び、般若心経

を耳にすることになったわけで、これを機会に、宇宙におけるとは言わぬまでも、世界における自分の生き方について考えてみるのも、意義あることではないでしょうか。

本学では開学以来、少人数教育に徹して、学生諸君一人一人の希望や夢に沿った教育を目指してきました。そのことは、わたしたち関係者の大きな誇りとするところです。これから的人生をいかに生きるか、諸君のひそかな夢や希望をかなえるための素地を、ぜひとも本学で固めてもらいたい。小学校から高等学校までと大学とが大きく違うのは、与えられるものをただ受けとっているだけでは、けつてことが進まないという点でしょう。これまで「生徒」と呼ばれてきたのが、これからは「学生」と呼ばれます。その違いは、実は大変に大きい。学生としての諸君は、自から学び、研究し、生きるのであって、大学はそのための機会と、場所と、必要な道具を提供するに過ぎません。それらをどう利用し、どう自分の望みに適合させていくかは、すべて諸君の意思にかかってきます。黙って教室に座っているだけ、与えられた課題をこなしているだけでは、ほんとうの意味で得られるものは少ないでしょう。2年なり4年の学園生活を、強い問題意識と自立心を持って、しかも十分に楽ししながら過ごすことができれば、そのとき諸君は、知識でも、技術でも、そしてなにより、長い人生に挑む精神力において、これまで漠然と願ってきた以上のものを身につけることができているでしょう。諸君の健闘を祈ります。

●京都嵯峨芸術大学 学長 三好郁朗
新入生諸君に願うこと



NEWS

大学報告

第36回制作展を開催

卒業・修了制作展

2月6日(水)～2月10日(日)の5日間、京都市美術館において、京都嵯峨芸術大学ならびに同短期大学部、同大学院の卒業・修了制作展を開催しました。学生生活の集大成ともいえる充実した作品がならび、5,800名近くの方々に来場いただき、盛況のうちに終えることができました。

なお、開催期間初日に、優秀作品として各賞を選定しました(右の一覧参照)。受賞者は、3月19日の卒業・修了証書授与式に先立って行われる授賞式で表彰されました。



京都市美術館での卒業・修了制作展風景

進級制作展

卒業・修了制作展と同期間中、本校内では、芸術学部2・3回生と短期大学部1回生の進級制作展を開催し、1,000名近くの方々にご来場いただきました。授業における課題作品や、自由制作作品がキャンパス各所で展示され、普段とは違った雰囲気が大学を包みました。



本学での進級制作展風景

第36回 制作展 受賞者一覧

大学院・芸術学部

学長賞	造形学科日本画分野	宇都宮恵	動植綵絵 雪中鶯鳩図 現状模写
芸術研究科賞	芸術研究科造形複合分野	小原志門	iruracip
芸術学部賞	造形学科版画分野	石戸麻衣	適者生存 一内 適者生存 一外
芸術学部賞	観光デザイン学科	川越春菜	地区A
大覚寺賞	芸術研究科造形複合分野	金澤麻由子	実存比喩—永遠の日曜日—
教育後援会奨励賞	造形学科日本画分野	野原好美	es ~3つのS~
教育後援会奨励賞	造形学科日本画分野	門前聰恵	冠鶴
教育後援会奨励賞	造形学科油画分野	林奈緒	telegraph pole
教育後援会奨励賞	造形学科油画分野	安田知司	Omega point
教育後援会奨励賞	造形学科メディアアート分野	長谷川あづみ	回帰
教育後援会奨励賞	観光デザイン学科	大野元久	High Football～サッカーの新しい可能性～
教育後援会奨励賞	観光デザイン学科	西谷福朗	鍵形
同窓会賞	造形学科日本画分野	池田奈央	雙喜図 現状模写
同窓会賞	造形学科メディアアート分野	西田佳代	かいじゅうヌーとゆかいな音楽
同窓会賞	観光デザイン学科	庄島文子	しょうじまんシーサー神社

短期大学部

学長賞	美術学科美術分野日本画	安藤恵	新伊丹駅
美術学科賞	美術学科美術分野ミクストメディア	松延総司	K
美術学科賞	美術学科デザイン分野イラストレーション	藤本恵里香	ホップ!と おかしな おかしな かくしあじ
専攻科賞	専攻科デザイン専攻	三浦絢	とてじのコロコロンばな
大覚寺賞	美術学科デザイン分野グラフィックデザイン	井上茉美	わたしの樹
大覚寺賞	美術学科デザイン分野イラストレーション	金山美穂	Devil Baby
大覚寺賞専攻科	美術専攻陶芸	石井麻以	sugar
教育後援会奨励賞	美術学科美術分野日本画	小橋可奈子	枯鶴
教育後援会奨励賞	美術学科美術分野洋画	熊谷菜都美	色見本I
教育後援会奨励賞	美術学科美術分野洋画	中村めぐみ	絵を描く自画像
教育後援会奨励賞	美術学科美術分野陶芸	八木早苗	お茶会セッタ
教育後援会奨励賞	美術学科美術分野染織	白井沙希恵	樹皮苔～大木にいきづくもの～
教育後援会奨励賞	美術学科デザイン分野グラフィックデザイン	土松香菜子	okuni
教育後援会奨励賞	美術学科デザイン分野グラフィックデザイン	林佳里	Draw
教育後援会奨励賞	美術学科デザイン分野イラストレーション	池本菜央実	あのころ
教育後援会奨励賞	美術学科デザイン分野イラストレーション	加藤三和	えにっきて
教育後援会奨励賞	美術学科デザイン分野イラストレーション	山藤裕之	seek around
教育後援会奨励賞	美術学科デザイン分野イラストレーション	藤川亜美	LINUS —ライナス—
教育後援会奨励賞	美術学科デザイン分野インテリアデザイン	八百谷早織	whereabouts.
教育後援会奨励賞	美術学科デザイン分野プロダクトデザイン	市枝みつよ	self
教育後援会奨励賞	専攻科美術専攻ミクストメディア	山下沙弥香	freedomの後にfree time
教育後援会奨励賞	専攻科デザイン専攻	田中亜紀	ボクとワタシの3R
同窓会賞	美術学科美術分野日本画	佐川真紀	草葉
同窓会賞	美術学科デザイン分野グラフィックデザイン	長尾彩香	UD(ユニバーサルデザイン)絵本
同窓会賞	美術学科デザイン分野イラストレーション	祝部はす美	チャーミーガール アケミちゃんの小部屋
同窓会賞	美術学科デザイン分野イラストレーション	宮本薰	グッバイ愛しのクレイジーガール
同窓会賞	美術学科デザイン分野プロダクトデザイン	赤松美紀	Imagination Gift
同窓会賞	専攻科デザイン専攻	河谷美紀	私の思い出辞典
同窓会賞	専攻科デザイン専攻	栗田佳代子	人間さん

NEWS

教員人事

2008年度の各種運営、教学、附属施設、研究機関の体制を、下記の通り編成いたしました。(2008年4月1日付)

執行部体制(教授会運営協議会)

学長	三好 郁朗 教授
芸術学部長	箱崎 瞳昌 教授
短期大学部長	北村 正己 教授
教務部長	池田八栄子 教授
学生部長	桑田 政美 教授
入試部長	増田 洋 教授
文化事業部長	三好 郁朗 教授(兼務)
総務部長	午居 隆平 事務局長

教学体制

造形学科長	宇野 和幸 教授
デザイン学科長	三宅 章介 教授
観光デザイン学科長	坂上 英彦 教授
大学院研究科長	箱崎 瞳昌 教授(兼務)
美術学科長	藤本 秀樹 教授
専攻科長	中井 浩史 准教授
講義部門長	佐藤 文郎 准教授
美術部門長	北村 正己 教授(兼務)
デザイン部門長	藤本 秀樹 教授(兼務)
企画室長	佐野 仁志 教授
広報室長	松本 泰章 教授
学生相談室長	清瀧 裕子 講師

附属機関、研究機関体制

図書館長	土手 朋英 教授
博物館長(ギャラリー兼務)	加藤 明子 教授
芸術文化研究所長	佐々木正子 教授
観光デザイン研究センター長	真板 昭夫 教授

職員人事

また、学園40周年記念事業室長に増田洋氏、学術顧問に大竹仁子氏、文化事業部アドバイザーとして渡辺典子氏に重任いただきました。

【退職】

下記の方が退職されました。
(2008年3月31日付)

井上俊夫(法人参与)

炭山尚賢(芸術文化研究所課長)

【新任】

下記の方が着任されました。
(2008年4月1日付)

【異動】

下記の通り、事務局の異動を実施いたしました。(2008年4月1日付)

事務局人事 (カッコ内は前職)

文化事業部文化事業課長	三宅一穂
博物館ギャラリー課長兼務	(文化事業部文化事業課長)
芸術文化研究所課長兼務	(博物館ギャラリー課長兼務)
学生部学生課係長	野副幸子 (教務部教務課係長)
学生部キャリア支援課係長	牧野光善 (学生部学生課係長)
総務部総務課員	大前 智 (総務部広報室員)
教務部教務課員	土井準一 (総務部総務課員)
芸術文化研究所職員	三上敦子 (文化事業部文化事業課員)

名誉教授の称号授与

2008年3月31日に退職された芦原祚子先生に、2008年4月1日付で名誉教授の称号が授与されました。

新任教職員紹介

北波博 芸術学部造形学科教授・特任教員


この度、縁あって、この京都嵯峨芸術大学で教鞭をとさせていただきましたことになりました。この近くの京都市立嵯峨中学校で校長として勤めてきましたが、教壇に立つのは久しぶりです。美しい自然と豊かな文化あふれるこの嵯峨の地で、続けて働かせていただけることに感謝しています。どうぞよろしくお願いします。

仲政明 芸術学部造形学科准教授


文化財を中心として古画模写や建物彩色修復等に携わってきました。古典技術や知識の修得だけでなく、実際に手を通すことで各時代の創作者が何を大切にしてきたのかを感受できることは、私の人生観に多大な影響を与えてきました。古典をどのように享受し深思するかで、様々な価値観を生み出すことができると考えています。よろしくお願いします。

荒芝啓太 事務局・入試部入試課


新任教職員として紹介いただくには幾分くたびれた姿ではありますがあ、良い意味で既成にとらわれない発想をし、大学運営に資するよう活動させていただきます。文明ばかりが発達して文化が薄れているこの時代を救う文化人の育成のため、頑張ってまいりましょう！

東儀秀樹 芸術学部客員教授



1959年東京都生まれ、雅楽師。奈良時代から雅楽を世襲してきた楽家の家系に生まれる。幼年期を海外で過ごし、ロック、クラシック等あらゆるジャンルの音楽を吸収しながら成長。高校卒業後は宮内庁楽部に入り、簞篋(ひちりき)を主に、琵琶、鼓類、歌、舞、チエロを担当。今上天皇の大嘗祭等のさまざまな宮中行事や、皇居において行われる雅楽演奏会に出演するほか、海外公演にも参加し、日本の伝統文化の紹介や国際親善の役割を果たしてきた。宮内庁退職後、日本で唯一のフリーの雅楽師として音楽や歴史等のテレビ番組にも出演する一方、CM、映画、舞台等の音楽も手がけている。著書、アルバム、受賞歴など多数。

昨年よりかなり増加したことが挙げられます。

2009年度入試に向けて、試験科目の見直しや芸術学部での3月入試の実施などを予定しています。試験の詳細については、5月中旬に完成予定の大学案内にてご確認ください。

2007年(平成19年)度卒業式

2007年度京都嵯峨芸術大学および京都嵯峨芸術大学短期大学部卒業証書・学位記授与式、ならびに修了証書授与式を本学名誉学長、大本山大覺寺新開真堂門跡猊下のご臨席のもと、2008年3月19日(水)に執り行いました。卒業・修了者数は以下の通りです。

○京都嵯峨芸術大学 大学院 芸術研究科	4名
芸術学部 造形学科	78名
観光デザイン学科	47名

○京都嵯峨芸術大学短期大学部 専攻科	44名
美術学科 美術分野	58名
デザイン分野	134名
計	365名

2008年度入試結果報告

昨年8月のAO入試体験授業から始まった2008年度入試も、3月の短期大学部自己表現入試(後期)をもって全日程を終了しました。2008年度入試においては、芸術学部の推薦、一般入試(前期)でそれぞれ試験を2日間実施、合格のチャンスを増やしました。芸術学部では志願者総数511名中、合格者は352名、短期大学部では志願者総数176名中、合格者は163名という結果に終わりました。特徴としては、大学入試センター試験利用入試の受験者が



本学・講堂での卒業式風景

TOPICS

教員・在学生の活躍

高大連携授業を実施

2月18日(月)、大阪福島女子高等学校(1年生40名)との高大連携授業を行いました。本学メディアデザイン学科の江村耕市准教授の映像・ビジュアルについての授業や、短期大学部デザイン分野の竹中らんこ准教授の、本学でのマンガ作成の授業の解説に加えて、本学卒業生の漫画家・河井リツ子さん、玩具プロデューサー・安斎レオさんをお招きし、交流会を行いました。また2月20日(水)には兵庫県立香寺高等学校との高大連携授業を実施。地場振興とデザインワークの実践を学ぶため、本学教員が模擬クライアントとして課す課題(商品)について、高校生数名で構成する広告制作会社を仮想起業、販売企画・商品パッケージ案をプレゼンテーションするというものです。課題は地元特産品のそうめん「揖保の糸」を季節を問わず売れる商品にアレンジした「カップそうめんイタリアン味」でした。

藤川教授が執筆された小説が刊行

時代小説招待席「しぐれ舟」が(株)徳間書店より刊行されました。同冊子は、江戸時代等の“恋愛”をテーマに九つの短編が掲載され、本学客員教授の藤川桂介先生が執筆された「たまくらを売る女」が掲載されています。



発行所:(株)徳間書店刊行
定 價:667円(税抜)
ISBN:978-4-19-892728-8

日野田准教授が出品された展覧会のカタログが出版！

2008年2月15日(金)～24日(日)までベルギー(Gallery 113 Walle 113 8500 Kortrijk/Belgium)にて開催された展覧会『“Fragiles-Porcelain, Glass&Ceramics”』に本学准教授の日野田崇先生が出品され、同展のカタログが出版されます。272ページ、フルカラー、ハードカバーとなっています。

著者:ロバート・クランテン、スヴェン・イーマン編
出版社: Die Gestalten Verlag.
(ゲシュタルテン出版社／ベルリン)
価 格: \$65.00
I S B N: 978-3-8989855-208-9

林教授が京都府文化賞功労賞を受賞

京都の文化の向上に寄与した人に贈られる「第26回京都府文化賞」で、日本画家である本学の林潤一教授が長年の作家活動を評価され「功労賞」を授与されました。

金澤麻由子さんがデジタルスタジアムに出演

2008年1月17日(木)、NHKで放送された「デジタルスタジオ(デジスタ)」の“映像作品セレクション”に本学大学院生の金澤麻由子さんが出演しました。

「デジスタ」は、CGやWeb、インラクティブなど、デジタル・アートと呼ばれるこれからの新しい表現を公募し、放送で紹介していく番組で、毎回テーマごとに4～5作品が紹介されます。金澤さんの作品は、出演中最もスタジオの出演者からの推薦の多かった作品(ベストセレクション)として年末のグランプリを決める「デジスタ・アワード」に進出します。

第3回車座シンポ報告

京都嵯峨芸術大学現代芸術研究会による公開研究プログラムとして、講

演者と聴者が双方向でやり取りができるよう周囲を“車座”状に取り囲む車座シンポが、2008年2月24日(日)に本学・第6演習室にて開催されました。美術館、ギャラリーなど既存の展示空間ではなく、古い織物工場や、巨大な旧造船所、街路や商店街などの都市空間などの場所でアートプロジェクトを企画・運営してきた美術家やアートプロデューサー等の3名に、活動の意義や社会との関わり方を伺いました。

○「第3回車座シンポ
-アートプロジェクトの可能性-」

○パネリスト
赤池孝彦(桐生再演運営委員)

木ノ下智恵子(NAMURA ART MEETING 実行委員会)
宮本初音(ミュージアム・シティプロジェクト(MCP) 事務局長、アートアパート88代表)

博物館・ギャラリー報告

博物館・ギャラリー企画展報告

●ペナント・ジャパン in 嵐山
観光芸術のひとつとして昭和40年代に流行したペナントと資料を谷本研氏の協力により展示。多くの方が来場され全国各地のペナントや貴重な原画等を楽しんでいました。
会期 2008年1月9日(水)～1月20日(日)
会場 附属博物館・附属ギャラリー

●めぐるめぐるファンタジー展
本学、生涯学習講座「絵本」講座の受講生が制作した絵本の原画を展示しました。
会期 2008年1月27日(日)～2月2日(土)
会場 附属ギャラリー

●メディアデザイン大学院生展／小原志門「iruracip」
本学大学院生で新進気鋭の若手メディアアーティスト小原志門の作品展を開催しました。
会期 2008年2月1日(金)～2月10日(日)
会場 附属博物館

●研究生展
附属芸術文化研究所所属の研究生3名による展覧会を開催しました。
会期 2008年2月12日(火)～2月19日(火)
会場 附属ギャラリー

●2007年度 生涯学習講座 受講生作品
2007年度生涯学習講座(実技系を中心)の受講生作品(56点)を展示しました。
会期 2008年3月4日(火)～3月9日(日)
会場 附属ギャラリー